

製造業事例

法務支援クラウドサービス 「RICOH Contract Workflow Service」

社内導入事例



株式会社リコー
プロフェッショナルサービス部 法務RM室
法務RM2グループ

株式会社リコーは革新的な商品・サービスの提供を事業領域とし、オフィスプリンティング、オフィスサービス、商用印刷、産業印刷、サーマルなどの分野で事業展開中。法務RM室には旧来からの法務部機能が集約されており、契約審査や法務相談対応をはじめとした法務／リスクマネジメントサービスを本社組織や各事業部門に対して行い、紛争・訴訟対応、訴訟情報管理、社内仕組整備等にも対応している。

● 本社所在地：東京都大田区中馬込1-3-6 ● 設立：1936年2月6日

● 連結従業員数：81,184名(2021年3月31日現在)

<https://jp.ricoh.com/>

法務部門の業務を大幅に効率化。電子契約の導入やテレワーク推進も可能に。

リコーの法務支援クラウドサービス「RICOH Contract Workflow Service」は、リコーの法務部門が業務改善を目的として法務支援システムを内製したことにその原点があります。長年の改善から熟成された法務支援システムは、最先端の技術を採用し最新の法務支援クラウドサービスへと生まれ変わりました。今回、改めてリコーの法務部門で導入したRICOH Contract Workflow Serviceについて、業務改善されたポイントや効果を聞きました。



RICOH
Contract Workflow Service

※Contract Workflow Serviceが提供する業務の範囲(オプションを含む)

「RICOH Contract Workflow Service」導入が 抜本的な法務業務の改革につながる

法務支援クラウドサービス
RICOH Contract Workflow Service
社内導入事例

法務業務のさらなる効率化を目指し 最新の法務支援サービスを導入

株式会社リコー（以下、リコー）の法務部門では、業務の効率化を図るために1998年からグループウェアを使い、法務相談・契約管理システムを運用してきました。このシステムを原型にして、より多くの企業で法務業務の効率化を推進する最新の法務支援クラウドサービスとして誕生したのがRICOH Contract Workflow Serviceです。簡易審査（後述）や電子契約の導入、テレワークの推進など、あらゆる面で法務業務の効率化につながるため、リコーとグループ各社の共通インフラとして導入、運用を開始しています。

簡易審査で相談対応の3割以上を 自動化し大幅な業務の効率化を達成

リコーの法務RM室でRICOH Contract Workflow Serviceを利用するメンバーは約30名。リコーを含むグループ13社からの年間相談件数は1万件を超え、年々相談が増え続けるとともに、迅速な対応が求められています。こうした状況へ効果的に対応できるのが、簡易審査の機能です。簡易審査では事前に設定した条件に該当する相談に対し、「稟議には法務審査の結果を添付する」という部門も多いため、打合せなどを経ずに法務からの回答を簡単に得られるメリットもあります。

簡易審査で相談の3割以上に自動回答することで、法務部門の負担も軽減しています。

契約手続きの負担が劇的に軽減できる クラウドサイン連携

クラウドサインと連携して電子契約を行えるのもRICOH Contract Workflow Serviceの特長です。電子契約システムは、通常すべての利用者をシステムに登録しなければなりません。クラウドサイン連携機能では、利用者はログインしたRICOH Contract Workflow Serviceからシームレスにクラウドサインへ移行し、簡単に電子契約が行えます。弊社では運用開始から半年足らずで、新たに締結する契約の30%以上を電子契約が占めるほどに利用率も上がっています。電子契約の利用者は、これまで各部門が行っていた契約書へのサイン・押印や契約書の発送作業に必要な出社も不要になります。また、電子契約を締結すると、自動的に相手方や契約期間等の関連情報と契約書のPDFファイルと一緒に登録されるので、契約管理の負担を大幅に削減できました。

テレワーク推進の大きな原動力になり、 法務部門の出勤率は10%未満へ

システムの導入により法務担当者の働き方も大きく変わりました。その大きな要因の1つが、電話での相談対応からシステムによる対応

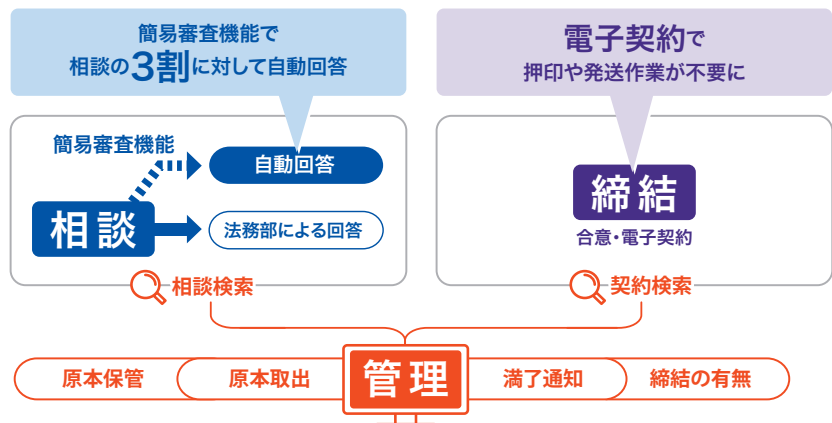
へと、対応方法が大きく変わった点です。相談対応の大半をシステム上で行えるので、在宅勤務も行いやすくなりました。全社でテレワークを推進していますが、現在の法務部門の出勤率は10%未満になっています。

法務相談をはじめとした法務や 契約のすべてがここにある

RICOH Contract Workflow Serviceによる情報の一元化は、法務部門にとって多くのメリットがあります。RICOH Contract Workflow Serviceでは登録された相談や契約書など、すべての情報を検索できるので、契約相手との過去の契約状況が容易に把握できたり、他の法務担当者が作成した契約書の参照もできたりして、相談への対応が効率的に行えます。また、これまでは何度も見直した契約のその後を把握できないことがありましたが、登録された契約書の契約締結の有無やその内容を確認できるようになりました。こうした情報共有により業務への安心感が増しました。タスク管理もしやすく、どこで業務が止まっているのかも一目瞭然ですから、部下のタスク管理にも有効なツールとして利用できます。RICOH Contract Workflow Serviceによるこれらの効率化は、多くの部門にも波及し、全社的なコスト削減にもつながっています。



プロフェッショナルサービス部 法務RM室
遠藤謙(上)・種市直和(左)・佐野祥平(右)



〈相談や契約書などすべての情報一元管理〉
業務負担軽減と迅速な対応が可能に

※クラウドサインは、弁護士ドットコム株式会社の商標または登録商標です。※その他、本カタログに記載の会社名および製品名はそれぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社
東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル
〒105-8503

<http://www.ricoh.co.jp>

●お問い合わせ ご用命は